

## 2023年度JLA中堅職員ステップアップ研修（2） 図書館システムの要件定義の実際

2023年9月26日（第20回）  
領域：図書館・情報インフラを発展させる

京都府立図書館 図書サービス部 利用サービス課  
(JLA認定司書No.1073) 奥野吉宏

π

π

### 本日の内容

領域のねらい・目標：

ネットワーク社会における情報資源管理および図書館システムへの理解を深めるとともに、利用者の視点を踏まえた実践について学ぶ。

内容：

図書館システムの機能要件を整理し、仕様書を作成するための基本を学ぶ。

π

### グループ実習

#### 【想定】

グループの図書館で、システムの共同調達を行うこととなりました。システムは1つにまとめますが、各館の運用は変更しないこととします。このために、どの館でもこれまでと同様の運用が可能な仕様を作成する必要があります。

#### 【実習課題】

- 各館の貸出機能を達成できる貸出業務フローを作成してください。

π

### グループ実習

#### 【実習にあたって】

- イレギュラーな処理も含めて、すべてのフローをチェックし直してください。
- どの処理の時点で何をチェックするのか。その処理は何をするためのものか。なぜその時点で処理をするのか。これらを論理的に説明できるかを考えてください。
- そのうえで、処理がぶつかる部分をどのように処理するか、話し合います。→ぶつかる部分について、解決できたか？解決できない場合は、処理フローを途中で分岐させるか、別メニューを考えるか等を検討し、フローにまとめてください。

#### 【発表にあたって】

- 作成したフロー・テーブルを使って、検討した内容について、発表してください。特に、まとめるのに時間を要した部分、課題と感じた部分、用語の違いについてなどを中心に発表してください。

π

### グループ実習

#### 【時間割】

14:00～ 実習内容説明（10分）  
14:10～ グループ実習（70分）

#### 【休憩】

15:30～ 発表（25分：各グループ12分）

#### 【休憩】

16:00～ 講評・質疑応答（30分）